草加市子ども読書活動推進計画（平成３０年度～令和５年度）の概要について

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、社会全体で積極的にそのための環境の整備を推進していくことは極めて重要です。草加市では、各主体が個別に事業を進めるのではなく、子どもの読書活動に関する施策を体系化し、総合的かつ計画的に推進するため、当該計画を策定しました。

施策の体系

基本理念	草加で育つすべての子どもたちが、 いつまでも心に残る本との出会いを通して、 「生きる力」を身に付けることを目指します。

施策の展開

基本方針１
家庭・地域・学校において、子どもが読書に親しむ環境を充実させます。

施策１－１
家庭及び地域における読書の機会の充実
【主な取組】
◇読み聞かせの機会の充実
◇読み聞かせの技能向上の支援
◇家庭における読み聞かせの支援や読書の大切さの啓発
◇子どもの読書活動に関わる施設、団体、地域文庫等への貸出支援
◇中央図書館、サービスコーナー、公民館・文化センター、児童館・児童センター、放課後児童クラブ等の蔵書及び施設の整備
◇読書が嫌いな子どもへ「読書の楽しさ」を働きかけ
◇電子書籍への対応に関する検討

施策１－２
学校における読書の機会の充実
【主な取組】
◇学校図書館の環境の充実
◇読書をする時間の確実な確保
◇各種研修の充実
◇調べ学習に対する連携
◇中学生・高校生に対する読書活動推進の強化

基本方針２
子どもの読書活動に関する啓発・広報を推進します。

施策２
「子ども読書の日」「読書週間」を中心とした読書の啓発の促進
【主な取組】
◇「子ども読書の日」「読書週間」の推進
◇子どもの読書推進に関する情報の通年発信

基本方針３
子どもが読書に親しむための推進体制を構築します。

施策３－１
関係者間の情報の共有化と図書館ネットワークの充実
【主な取組】
◇情報共有の充実
◇図書館ネットワークの充実

施策３－２
市民ボランティア・地域との連携の推進
【主な取組】
◇市民ボランティア・地域との連携による、読書の機会の創出
◇障がいのある子ども、日本語の不自由な子どもに対し、読書の機会を創出

成果指標

	(H29 実績値)	(R3 実績値)	(R5 目標値)
① 読書が「好き」「どちらかと言えば好き」の回答率	子ども：８２％	→ ８２％	→ ９０％
	保護者：８０％	→ ７９％	→ ８０％
② １か月に読む本が「０冊」の回答率（不読率）	子ども：１５％	→ １３％	→ １０％
	保護者：４３％	→ ４６％	→ ３３％
③ 「読んでよかった本がある」の回答率	子ども：６３％	→ ８３％	→ ７０％